

第10回 健康医療開発機構シンポジウム  
認知症と向き合う～健やかに老いるために～  
2017.3.4

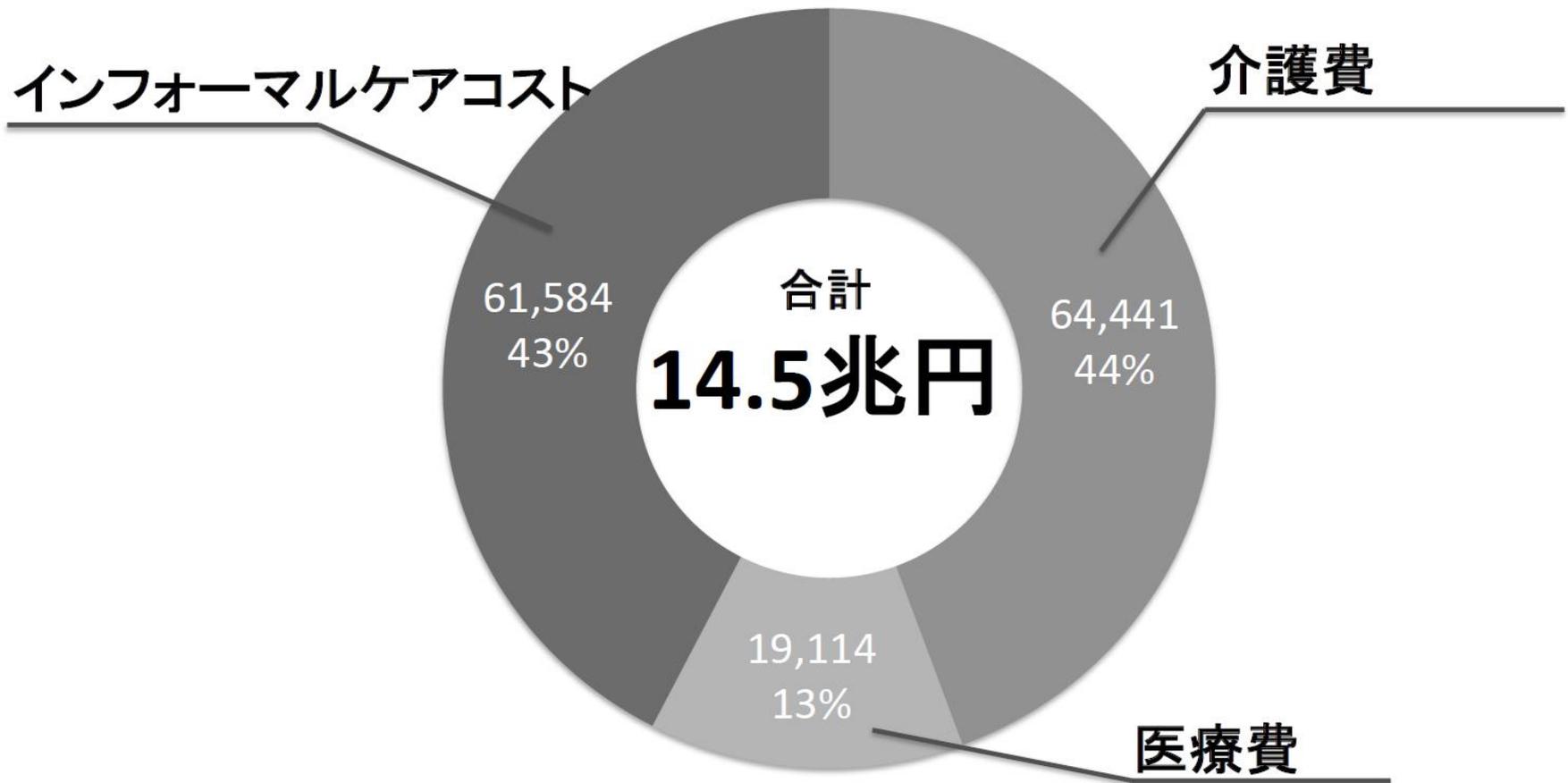
# 認知症医療・ケアの現状と課題

慶應義塾大学医学部精神神経科

三村 將

# 日本における認知症の 経済的影響に関する研究

単位: 億円



佐渡充洋ら: 2013-14年度厚生労働科学研究費

# 認知症(AD)の症状

幻覚

妄想

記憶障害



失行



徘徊失語

不眠

判断障害



害障害



失行

興奮

うつ

視空間障害



犬・鳥



食行動失認常

(BPSL)

# 認知症の症状



徘徊

不潔

妄想  
= 認知障害 = 幻覚

記憶障害  
視空間障害

失語  
失行

徘徊



不眠



うつ



不安 (BPS) 興奮



食行動  
異常

# 認知症に対するアプローチ

## 生物的 アプローチ

- 薬物療法
  - 対症療法
    - 周辺症状
    - 中核症状
  - 疾患修飾薬
  - 根治療法
- 磁気刺激
- 深部脳刺激
- 神経成長因子(NGF)
- 神経幹細胞移植
- 神経再生

## 心理社会的 アプローチ

- 介護的関わり
  - 患者本人の支援
  - 家族・介護者の支援
- 認知リハビリテーション
  - 集団リハビリテーション
    - 現実見当識訓練 (RO)
    - デイケア・デイサービス
    - 回想法
    - 音楽療法・絵画療法
    - バリテーション・セラピー
    - 作業療法・運動療法
  - 個人リハビリテーション
- 環境調整

# ADの中核症状に対する薬物療法 (対症療法)

- アセチルコリンエステラーゼ阻害薬
    - ドネペジル (アリセプト®)
    - ガランタミン (レミニール®)
    - リバスチグミン (イクセロン・リバスタッチ®)
  - NMDA受容体拮抗薬
    - メマンチン (メマリー®)
-

# AD治療薬：重症度と用法用量

軽度AD

中等度AD

高度AD

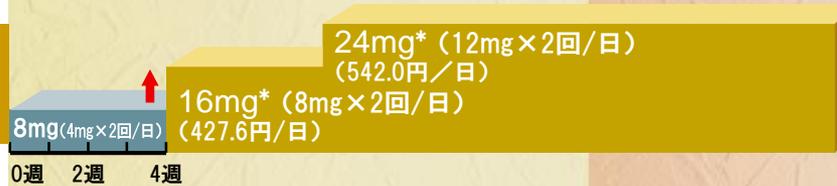
ドネペジル

投与回数：  
1日1回



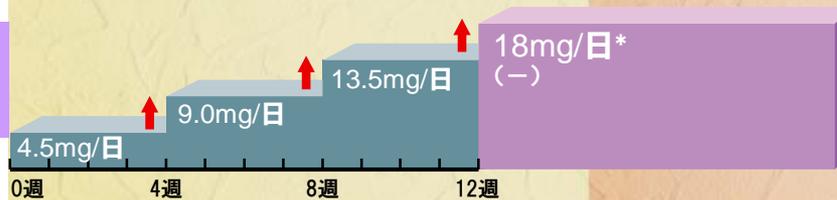
ガランタミン

投与回数：  
1日2回



リバスチグミン

投与回数：  
1日1回



メマンチン

投与回数：  
1日1回



# ADに対する薬物療法（修飾/根治）

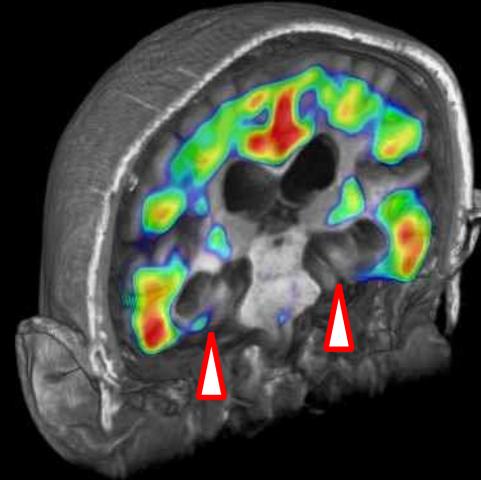
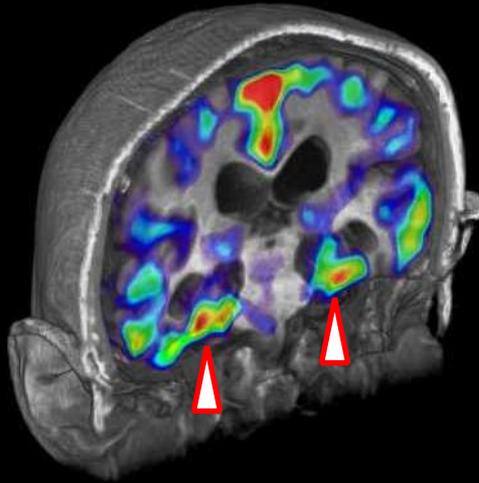
- アミロイドを標的とする薬剤
  - $A\beta$  産生抑制薬
  - $A\beta$  分解促進薬
  - $A\beta$  凝集抑制薬
  - $A\beta$  免疫療法（ワクチン療法、抗体療法）
    - $A\beta$  ワクチン療法（能動免疫）
    - $A\beta$  抗体療法（受動免疫）
- タウを標的とした薬剤
- 神経増殖因子
- 神経再生医療
  - 神経細胞の新生
  - iPS細胞

# [<sup>11</sup>C]PBB3によるタウイメージング

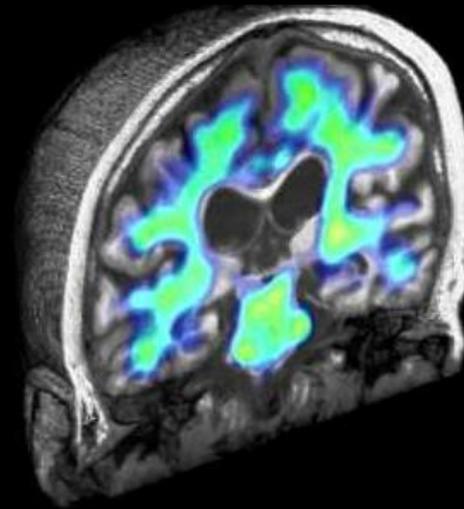
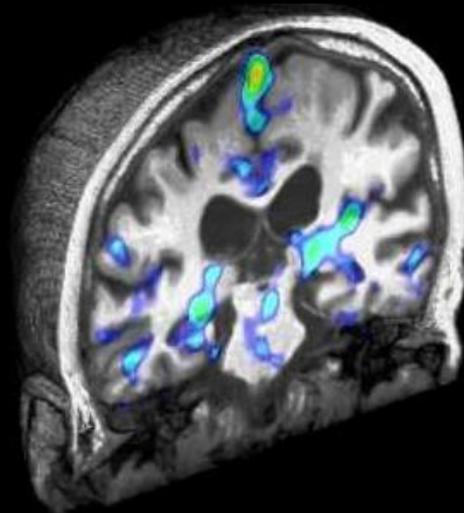
[<sup>11</sup>C]PBB3 (タウ)

[<sup>11</sup>C]PIB (A $\beta$ )

AD患者



正常高齢者



# アルツハイマー病の進展と予防

前臨床  
AD

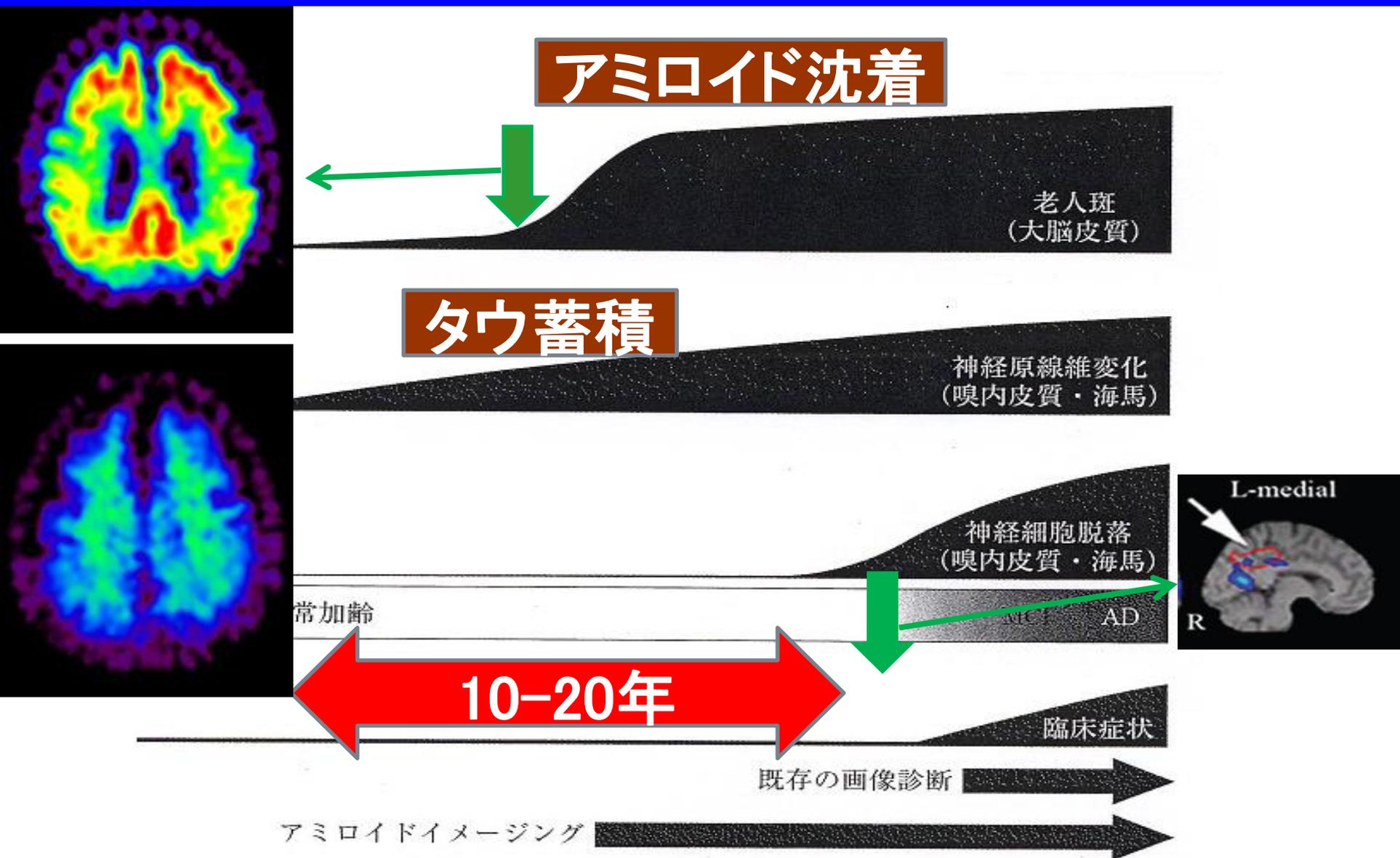
軽度  
認知障害  
(MCI)

アルツハイマー型認知症  
軽度 中等度 重度

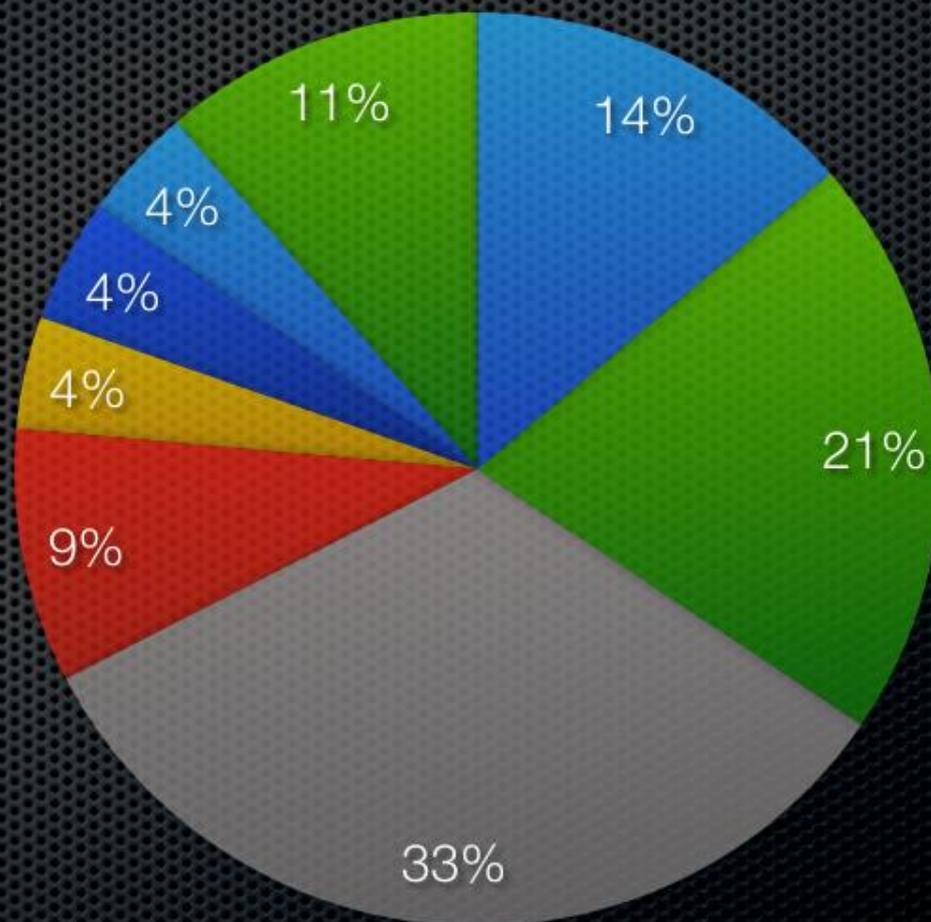
記憶障害  
認知症ではない  
臨床認知症尺度 = 0.5

軽度  
正常な認知機能  
正常な日常生活動作

# アルツハイマー病の病理過程の進行



# メモリークリニック 初診時診断

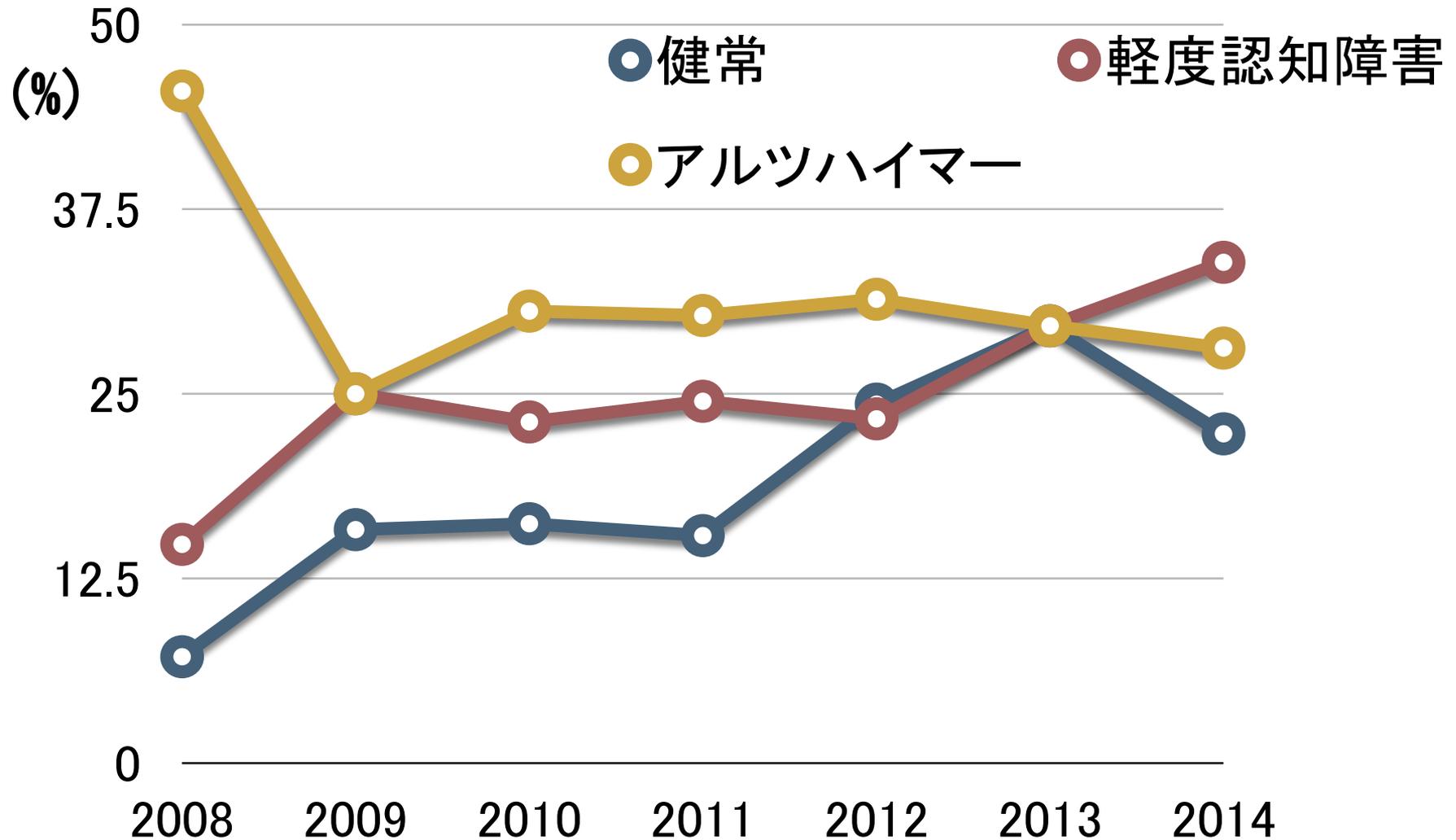


● 2008.2～2012.5

● 総数 1811名

# メモリークリニック診断別内訳

## 2008年～2014年の年次推移



# ADの周辺症状に対する薬物療法 (対症療法)

## 抗精神病薬

セレネース	グラマリール	リスパダール
ジプレキサ	セロクエル	エビリファイ など

## 睡眠薬

ベルソムラ	ロゼレム	ルネスタ など
-------	------	---------

## 抗てんかん薬

テグレトール	デパケン	リボトリール など
--------	------	-----------

## 抗うつ薬

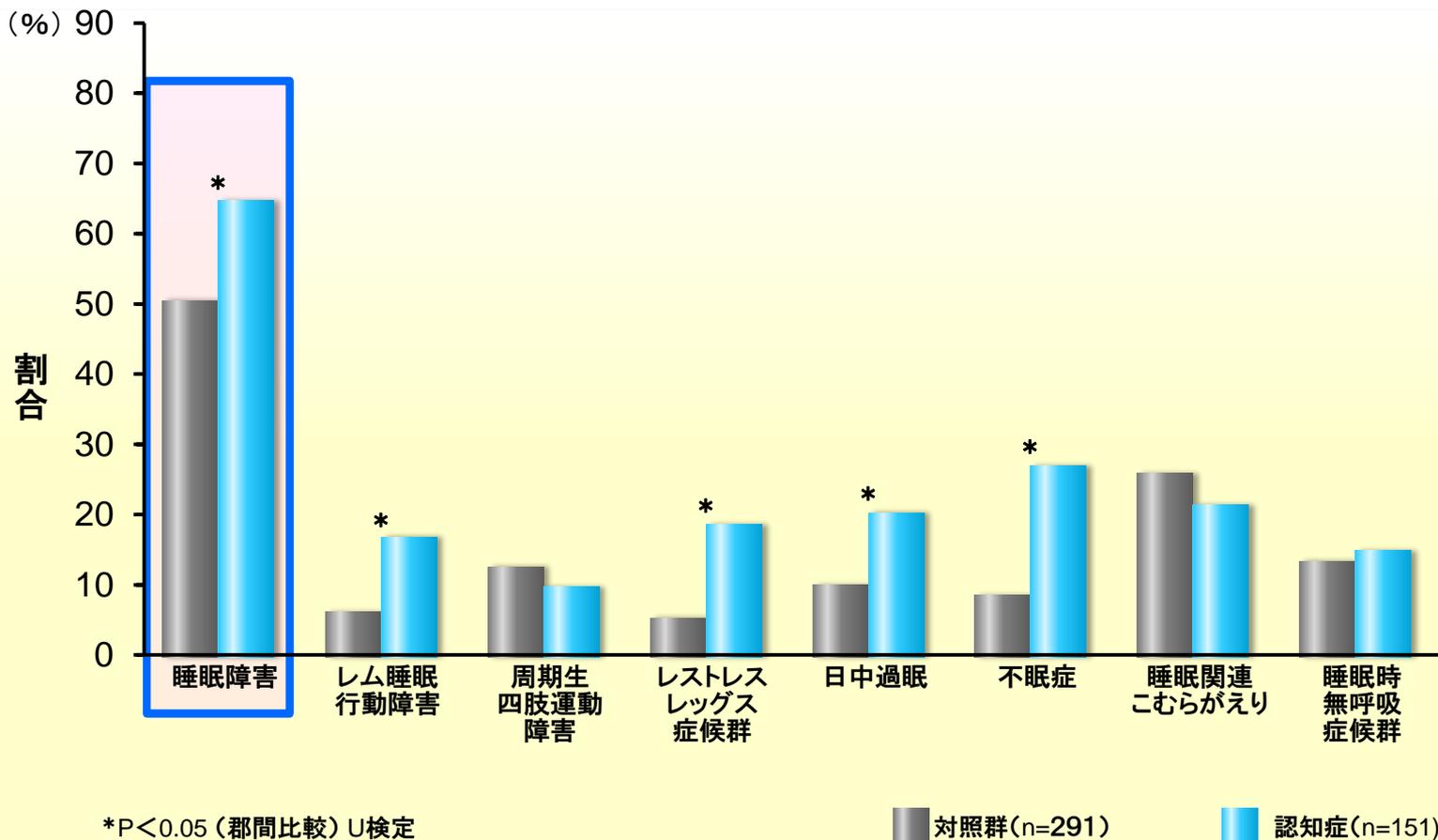
ルボックス (デプロメール)		パキシル
Jゾロフト	レクサプロ	レスリン (デジレル)

リフレックス (レメロン)		
サインバルタ	トレドミン	イフェクサー など

## 漢方薬

抑肝散	抑肝散加陳皮半夏	
黄連解毒湯	釣藤散	酸棗仁湯 など

# 認知症患者の7割超が睡眠障害



# 認知症の介護負担の要因



# 周辺症状 (BPSD)への対応

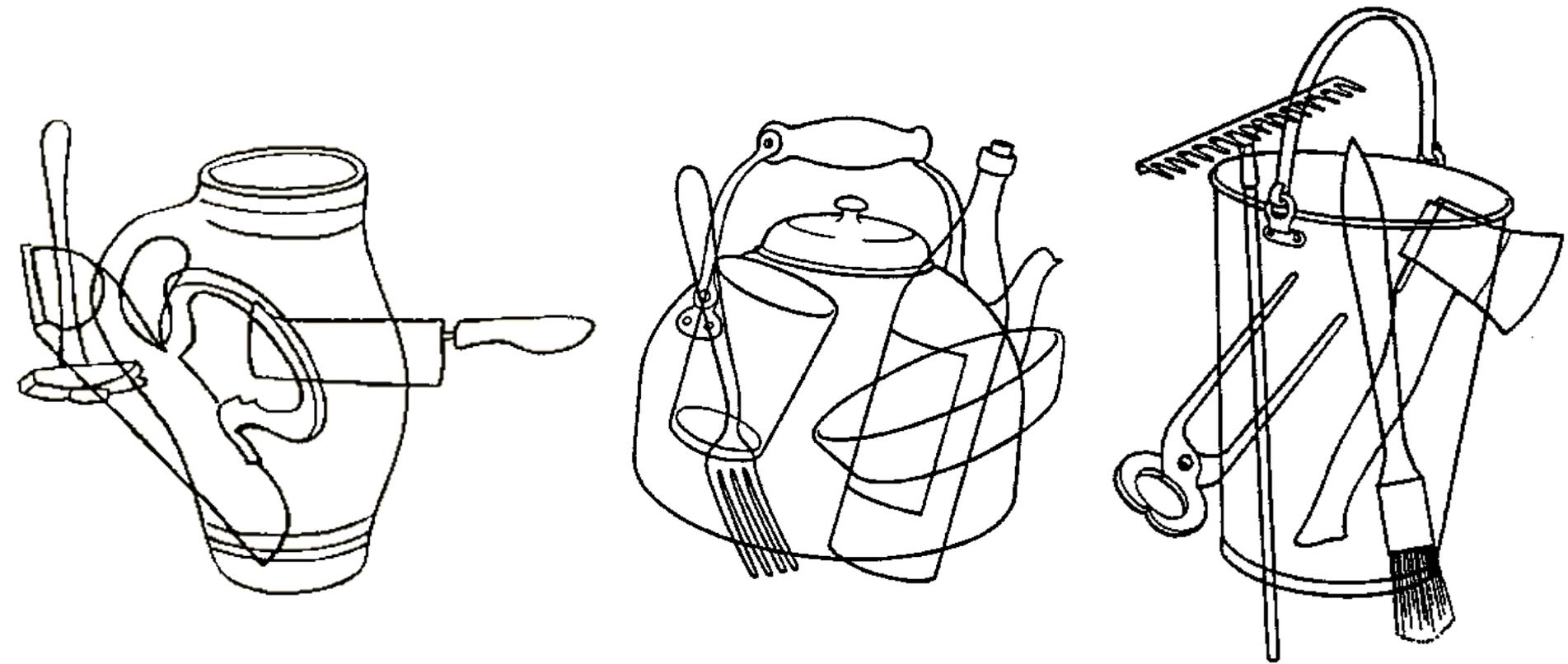
もの盗られ妄想・徘徊・帰宅願望・暴力行為

- 「何とかしたいという本人なりの反応」
- 不安やストレスが蓄積されておこる本人にとってはあたりまえの行動であることを理解する
- 行動障害の背景にある原因やきっかけを探る
- 不適切な環境や対応、体調不良などで増悪
- 本人の物語やなじんだ暮らし方、性格などの中に理解する手がかりがある

# 80代女性 レビー小体型認知症 視覚症状

- 知らない人が家の中にいる
- 女の人が部屋にスルスル入ってきた
- 編み笠を被った足のない女性が色のついた着物を着て座っていた
- ロングスカートのワンピースを着た女性が10～20人並んで出てくる。リーダー格の男がいて指導している
- 娘と妹が入れ替わる(人物誤認)
- 誤認症状は特に疲れているときや夕方に多い
- 演歌などの歌が聞こえることもある

# Poppelreuterの錯綜図



# Person-Centred Care

## 問題対処型ケア

- 1 認知症だから仕方がない
- 2 認知症になると何もわからなくなる
- 3 認知症は本人より周囲が大変だ
- 4 病気や症状に着目
- 5 家族や一部が抱え込み、負担が増大



## 利用者本位のケア

- 1 認知症でも治療やケアの効果期待できる
- 2 認知症でも感情や心身の力が残っている
- 3 本人中心、本人理解が基本
- 4 認知症の「人」に着目
- 5 専門職と地域がチームで関わる

# Person-Centred Care

## 認知症の人の心理 体験している世界

- 「わからない」ことの連続 → 不安と混乱  
思い出せない、何かがおかしい  
考えてもわからない
- 家事や仕事の失敗 → 自尊心の喪失  
自信がなくなる、孤独、あきらめ
- 現実世界についていけない → 焦燥・恐怖  
周囲とのずれ、とまどい、焦り、いらだち
- 自分自身が壊れていく → 強い恐怖

# Person-Centred Care

## 認知症の人の心理的願望

- 愛情(きずな) → 結びつき、なじみ、関係性
- 包含性(受容性) → 共感、誰かとともにいる
- 没頭性(役割意識) → 誰かの役にたちたい
- その人らしさ(物語性) → 「自分らしく」生きる
- 慰め(安定性) → 心穏やかに暮らす

# 認知症のDouble Depression

## ●患者本人

- ◆認知症の人の心理
- ◆うつ病 ⇒ 認知症へ

## ●介護者

- ◆介護負担
- ◆患者との関係性



# 家族の認知症受容の4ステップ

---

- ステップ1 ショック期 戸惑い・否定・否認
  - ステップ2 反応期 混乱・怒り・拒絶
  - ステップ3 修復期 あきらめ、割り切り
  - ステップ4 受容期 受容
-

# 家族支援

- **家族のストレスケアを十分に行う**
  - ⇒ 家族が経験する4つの心理的段階
  - ⇒ 進行防止、重度化の防止
  - ⇒ 虐待防止につながる
- **早期からかかりつけ医や介護支援専門員、サービスのプロとつながることを勧めたり、情報提供を行う**
  - ⇒ 市町村や地域の認知症対策情報を得ておく
- **家族の持つ介護力を引き出し、家族と本人の関係作りを積極的に促していく**
  - ⇒ 家族参画ツール、家族で記入
  - ⇒ センター方式や認知症ケア関連の書籍の紹介

# 新しい認知症ケアモデル

ケア関係者が共働して実践していくことを推進するための統一的なケアマネジメント方法

ケアサービスすべての過程に共通する視点

- 1 尊厳
- 2 安心
- 3 リハビリテーション、自立
- 4 予防・健康づくり
- 5 継続・地域包括

認知症介護研究・研修3センター(東京・仙台・大府)

# 新しい認知症ケアモデル

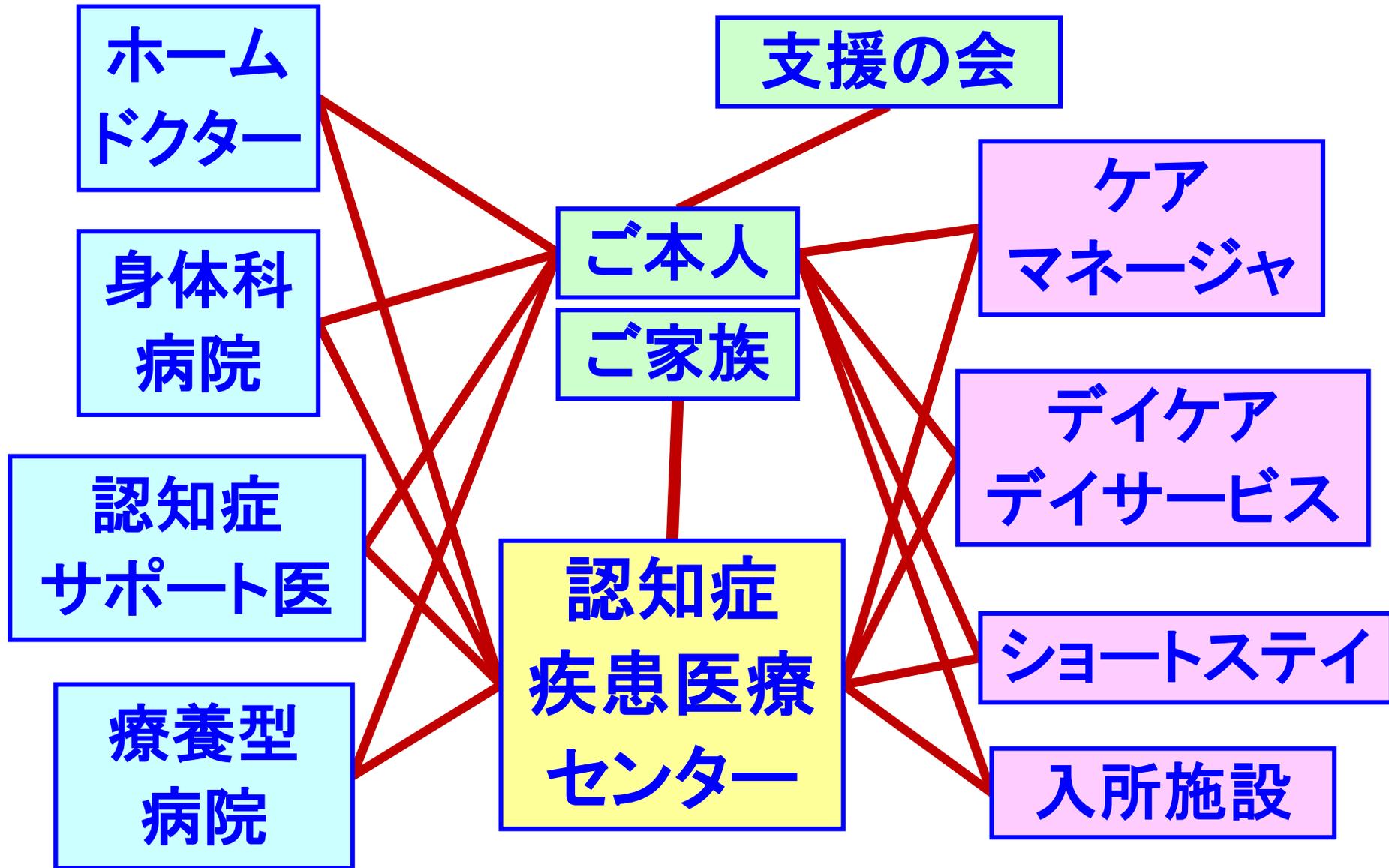
## 方針

- 1 認知症ケアが高齢者介護の基盤
- 2 利用者の尊厳の保持、利用者本位が基本
- 3 日常生活圏域を基本とした地域密着型サービス体系の構築
4. 認知症ケアの標準化、方法論の確立

2015年の高齢者介護

「高齢者の尊厳を支えるケアの確立」に向けて  
高齢者介護研究会の報告書より

# 地域で支える認知症



# 経済活動の能力が問われる場面

## 銀行の利用



## 買い物

日常生活上必要な物品



日常生活に不可欠  
自立した生活を守るために必要

日常生活を守るための  
財産管理能力

店員、銀行員が判断⇒

# ファイナンシャルジェロントロジー

## 資産運用

高額または長期的な金融商品の契約



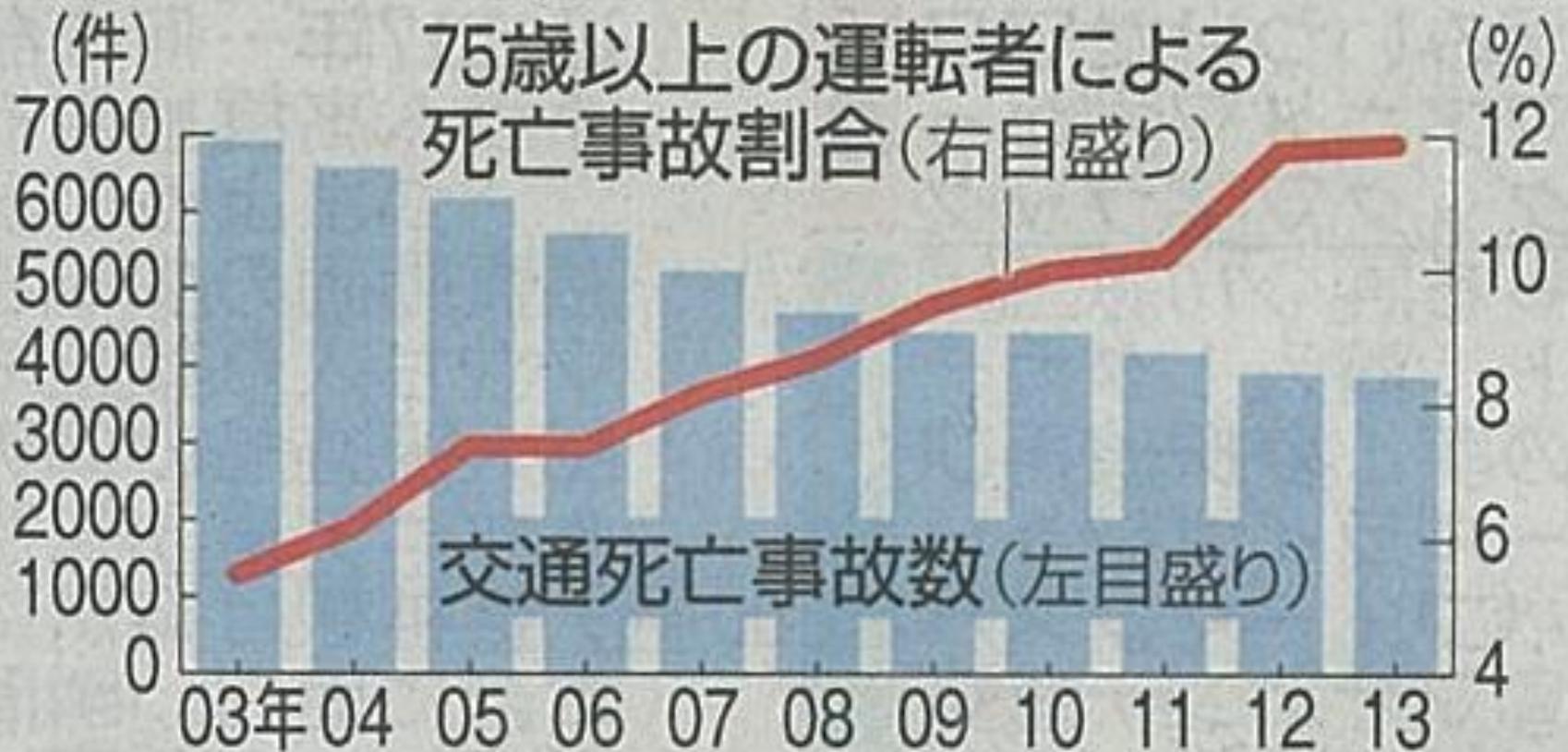
必要でない人もいる  
より積極的な財産の活用

日常生活を豊かにするための  
財産管理能力

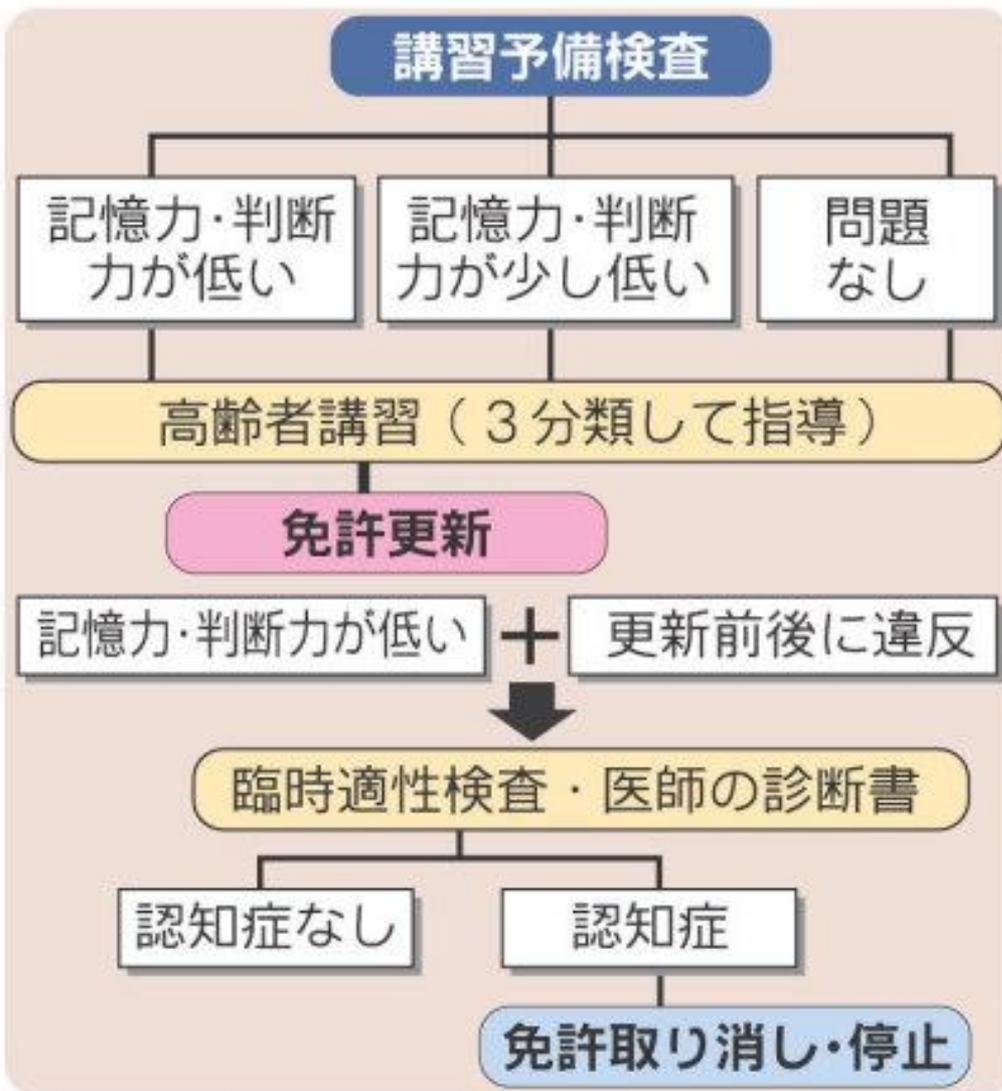
より厳格な評価  
⇒スクリーニング+専門  
的評価の必要性

# 交通事故死亡と高齢ドライバー

交通死亡事故の件数と75歳以上の運転者による死亡事故の割合 警察庁まとめ



# 道路交通法の改正 (2017.3.12)

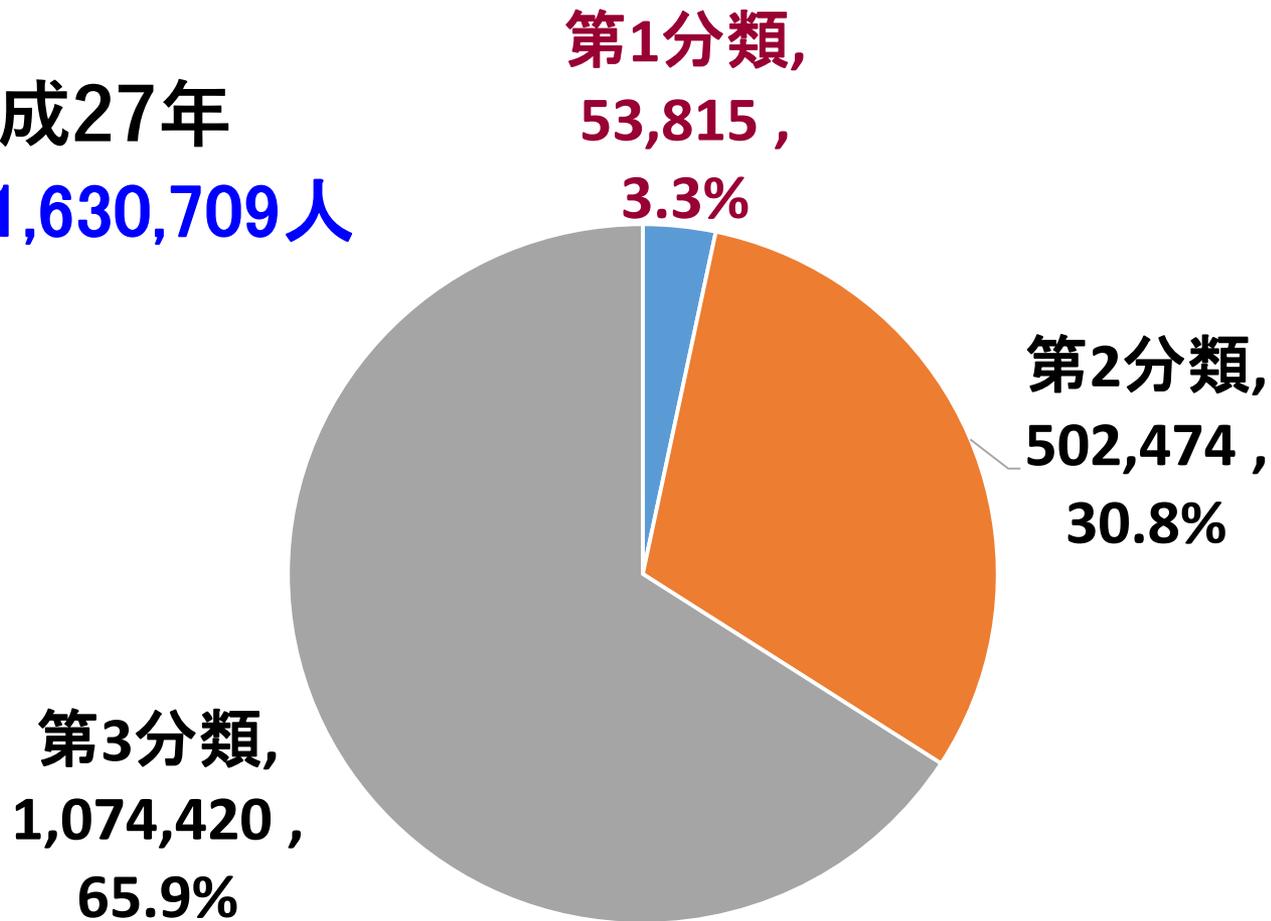


## 道交法による認知症対策



# 第1分類～第3分類の実数

平成27年  
合計1,630,709人



■ 第1分類 ■ 第2分類 ■ 第3分類

# リスクドライバーへの今後の対応

- **運転を制限していく方策**
  - 講習予備検査の拡大(年齢など)
  - 医師による報告制度
  - 発車時のロック解除
- **運転を促進していく方策**
  - 認知機能訓練
  - 限定付の自動車免許
  - 運転リハビリテーション
  - 事故を起こさない車
  - 自動運転
- **代替策の利用**
  - 自主バス, タクシー